

# 下野市団塊の世代アンケート調査

## 報告書

平成21年8月  
下野市教育委員会

# 目 次

1. 調査の趣旨	1
2. 調査の概要	3
(1) 調査目的	4
(2) 調査方法	4
(3) 調査対象	4
(4) 調査期間	4
(5) 配布数及び回収率	4
(6) アンケートの内容	4
3. 調査結果	5
(1) 単純集計	5
(2) クロス集計	18
(3) 団塊の世代のタイプ分け	33
4. 考察	35
資料 アンケート調査票	41

# 1. 調査の趣旨

## 1. 調査の趣旨

2007年(平成19年)～2009年(平成21年)にかけて団塊の世代が一斉定年を迎えております。全国で約680万人、栃木県で約10万人といわれるこの世代の皆様が、今日の経済、文化、ライフスタイル、さらに多様な価値観の基礎を作りあげてきました。

近年、地域コミュニティの希薄化が社会問題となっており、その要因の一つとして、地域活動等に関わる人材不足が指摘されています。特に、社会教育団体や公民館活動など社会教育活動に積極的に関わる人達の減少や高齢化が顕著となっています。

団塊世代が一斉退職となる問題は、地域の課題であると同時にこれから地域で生きる人たち個人の問題でもあります。各時代で新たな流れを作ってきた団塊世代の人達が、これまでの職業や学習を通じて培った経験やそれぞれが持っている多様なキャリアを活かして積極的に地域活動に参加していただくことになった場合、団塊世代の健康と生きがいづくりにもつながることから、地域活動の活性化への起爆剤となることが大いに期待できます。

以上のことから、団塊世代の人達が、会社組織から地域社会の一員として、地域活動に関わりを持つため、定年後も引き続き働きたい人、のんびりと余暇を楽しみたい人、ボランティアなど社会貢献をしたい人など様々なかたちで、積極的に地域活動に参加していただき、まちづくりの担い手として活躍を期待したいと考えております。

下野市には、約2,700人の団塊世代の方が住んでおり、市が目指す市民と協働によるまちづくりの新たな担い手として、主体的に市政の各分野で能力が発揮できるような場が必要となります。

そのために、これからの生き方についてと今後活用したい自分の能力やこれからの活動に関してご意見を伺うアンケート調査を実施いたしました。

ご回答いただきました皆様のご意見は、下野市の地域活動の人材活用の活性化に生かすと共に、今後事業展開のためのご意見として活用していきたいと考えております。

## 2. 調査の概要

## 2. 調査の概要

### (1) 調査目的

市では協働によるまちづくりを推進しています。そのため本調査は団塊世代の皆様を新たな協働の担い手として捉え、団塊世代のみなさまがこれからどのような生き方をされようとしているのか、地域のまちづくりに参加していただけるのであればどのような分野なのかなどを把握することを目的としています。

また、教育委員会からの諮問でもあります団塊世代の人材活用による活性化方策についての答申書策定に活用することも目的としています。

### (2) 調査方法

アンケート調査票を対象者に郵送配布、郵送回収

### (3) 調査対象

昭和22～24年度生まれの市内在住の方 1,000人(男女比7:3無作為抽出)

※仕事中心の生活をしてきており、地域活動にあまり関われなかった男性へのアンケート数を多くしています。

### (4) 調査期間

平成21年5月22日(金)～6月19日(金)

### (5) 配布数及び回収率

配布数 1,000通

回収数 397通

回収率 39.7%

### (6) アンケートの内容

- ①あなた自身のことについて (問 1～問 8)
- ②日頃のおつきあいについて (問 9～問10-2)
- ③60歳以降の生活設計について (問11～問18)
- ④市民活動やボランティア活動について (問19～問27)

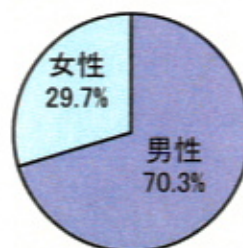
### 3. 調査結果

#### (1) 単純集計

## 問1 性別

選択肢	回答数	割合
男性	279	70.3%
女性	118	29.7%

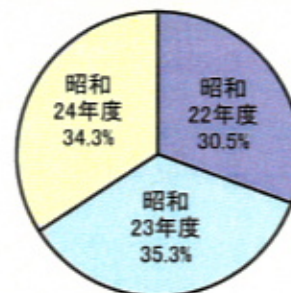
アンケート発送数とほぼ同じ割合で7対3の男女比で回答があった。



## 問2 生まれた年度

選択肢	回答数	割合
昭和22年度	121	30.5%
昭和23年度	140	35.3%
昭和24年度	136	34.3%

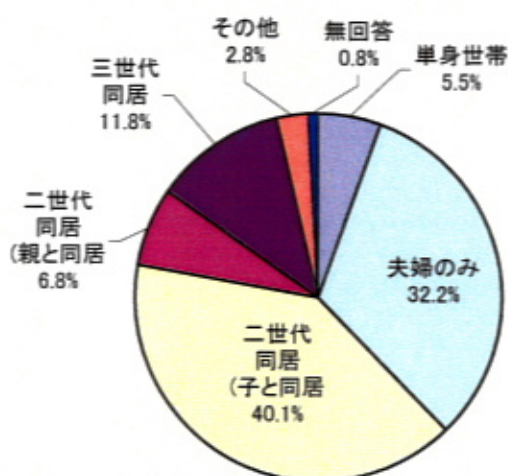
3つの年代ともほぼ同じ割合で回答があった。



## 問3 家族構成

選択肢	回答数	割合
単身世帯	22	5.5%
夫婦のみ	128	32.2%
二世帯同居(子と同居)	159	40.1%
二世帯同居(親と同居)	27	6.8%
三世帯同居	47	11.8%
その他	11	2.8%
無回答	3	0.8%

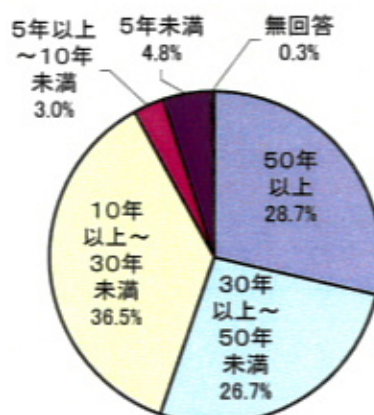
「子どもと同居」または「夫婦のみの家庭」が多く、核家族化が顕著に見られる。



## 問4 下野市での居住年数

選択肢	回答数	割合
50年以上	114	28.7%
30年以上～50年未満	106	26.7%
10年以上～30年未満	145	36.5%
5年以上～10年未満	12	3.0%
5年未満	19	4.8%
無回答	1	0.3%

居住年数10年以上の人が90%を超えている。

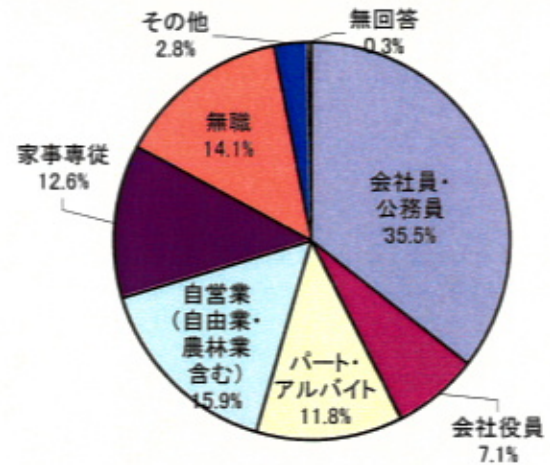




## 問5 職業

選択肢	回答数	割合
会社員・公務員	141	35.5%
会社役員	28	7.1%
パート・アルバイト	47	11.8%
自営業(自由業・農林業含む)	63	15.9%
家事専従	50	12.6%
無職	56	14.1%
その他	11	2.8%
無回答	1	0.3%

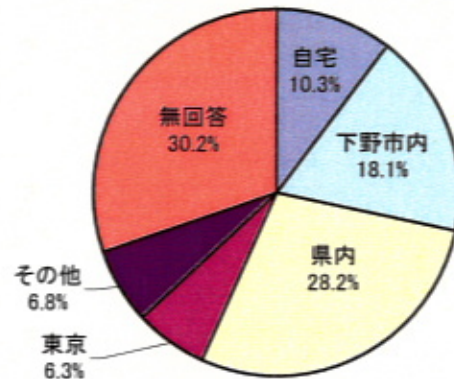
会社員・公務員の割合が最も多く、次いで自営業、無職となっている。



## 問6 仕事場

選択肢	回答数	割合
自宅	41	10.3%
下野市内	72	18.1%
県内	112	28.2%
東京	25	6.3%
その他	27	6.8%
無回答	120	30.2%

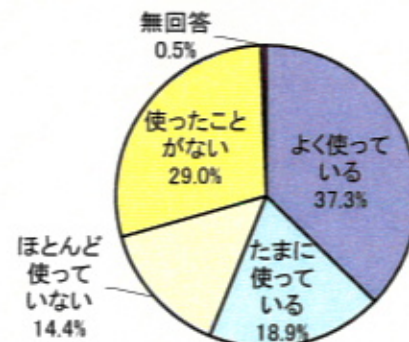
下野市外の「県内」で働く人数と「下野市内」または「自宅」で働く人数がほぼ同数である。



## 問7 パソコン

選択肢	回答数	割合
よく使っている	148	37.3%
たまに使っている	75	18.9%
ほとんど使っていない	57	14.4%
使ったことがない	115	29.0%
無回答	2	0.5%

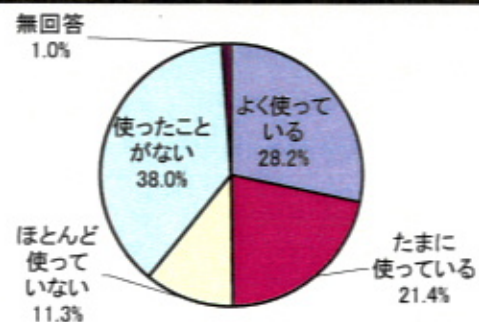
「よく使っている」人がもっとも多い一方で、「使ったことがない」人も多い傾向がある。



## 問8 インターネット

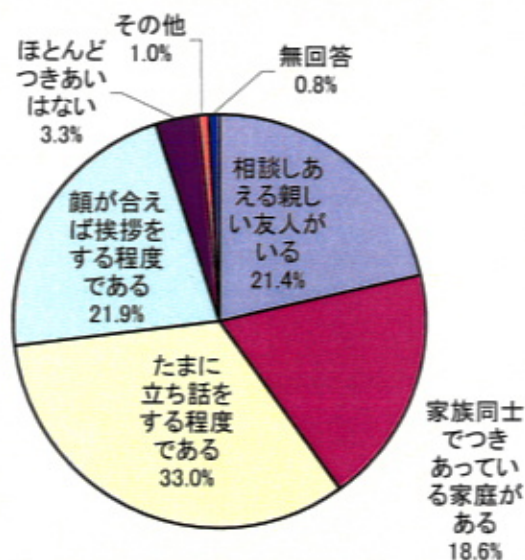
選択肢	回答数	割合
よく使っている	112	28.2%
たまに使っている	85	21.4%
ほとんど使っていない	45	11.3%
使ったことがない	151	38.0%
無回答	4	1.0%

使う人、使わない人がほぼ半々である。



## 問9 近隣住民との交流

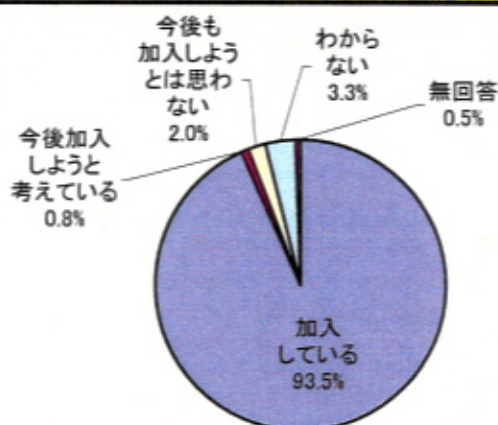
選択肢	回答数	割合
相談しあえる親しい友人がいる	85	21.4%
家族同士でつきあっている家庭がある	74	18.6%
たまに立ち話をする程度である	131	33.0%
顔が合えば挨拶をする程度である	87	21.9%
ほとんどつきあいはない	13	3.3%
その他	4	1.0%
無回答	3	0.8%



「たまに立ち話をする程度」の付き合い方がもっとも多い。

## 問10 自治会

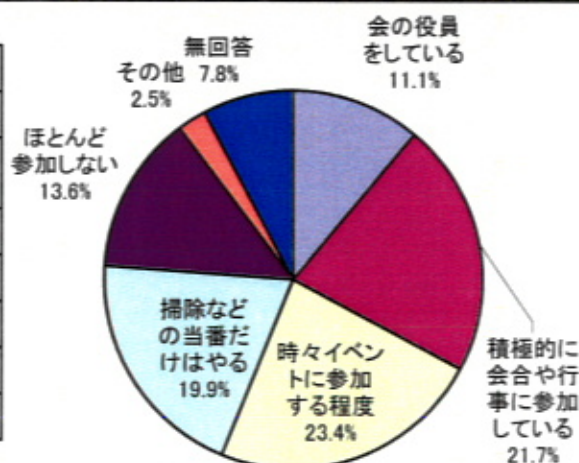
選択肢	回答数	割合
加入している	371	93.5%
今後加入しようと考えている	3	0.8%
今後も加入しようとは思わない	8	2.0%
わからない	13	3.3%
無回答	2	0.5%



90%を超える人が自治会に加入している。

## 問10-2 自治会とのかかわり

選択肢	回答数	割合
会の役員をしている	44	11.1%
積極的に会合や行事に参加している	86	21.7%
時々イベントに参加する程度	93	23.4%
掃除などの当番だけはやる	79	19.9%
ほとんど参加しない	54	13.6%
その他	10	2.5%
無回答	31	7.8%

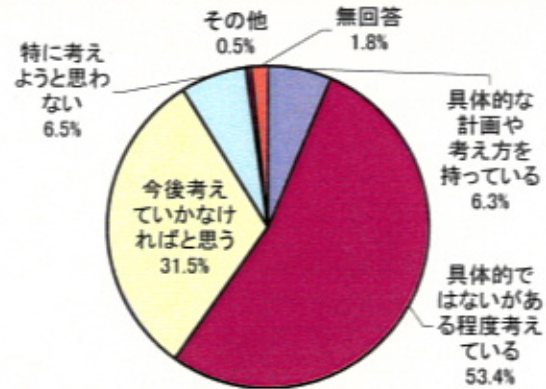


「時々イベントに参加する」程度の人を中心に、積極的に関わる人と消極的な人が半々である。



問11 今後の生活設計・生きがい

選択肢	回答数	割合
具体的な計画や考え方を持っている	25	6.3%
具体的ではないがある程度考えている	212	53.4%
今後考えていかなければと思う	125	31.5%
特に考えようと思わない	26	6.5%
その他	2	0.5%
無回答	7	1.8%

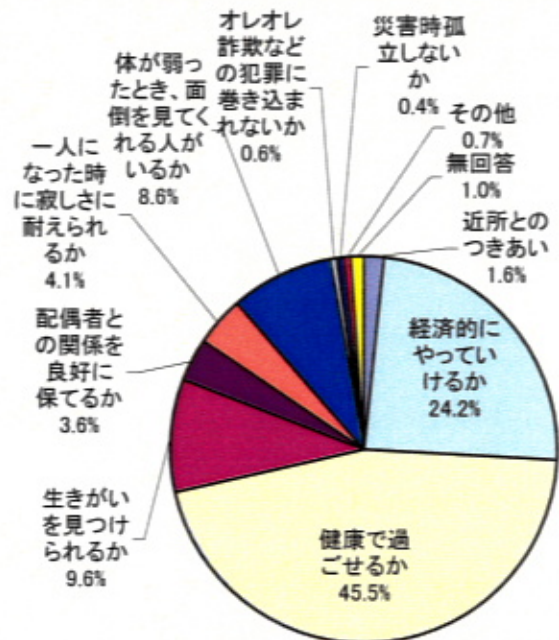


考えを持っている人が60%、考えなければならぬと意識している人が31%いる。

問12 今後の生活の不安

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

選択肢	回答数	割合
近所とのつきあい	11	1.6%
経済的にやっつけられるか	166	24.2%
健康で過ごせるか	312	45.5%
生きがいを見つけられるか	66	9.6%
配偶者との関係を良好に保てるか	25	3.6%
一人になった時に寂しさに耐えられるか	28	4.1%
体が弱ったとき、面倒を見てくれる人がいるか	59	8.6%
オレオレ詐欺などの犯罪に巻き込まれないか	4	0.6%
災害時孤立しないか	3	0.4%
その他	5	0.7%
無回答	7	1.0%

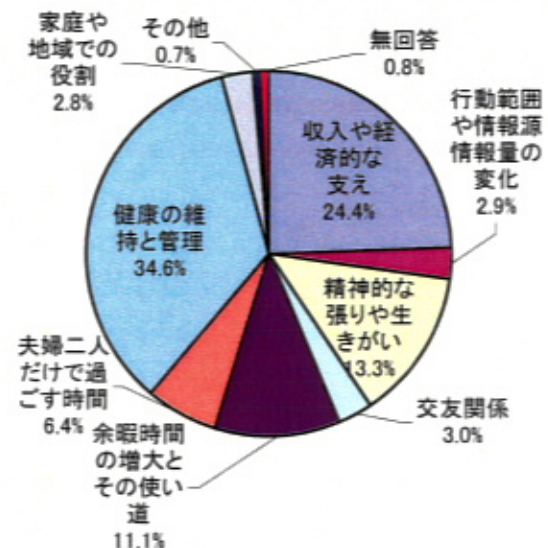


健康面と経済面に不安を感じている。

問13 生活設計関心事項

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

選択肢	回答数	割合
収入や経済的な支え	176	24.4%
行動範囲や情報源、情報量の変化	21	2.9%
精神的な張りや生きがい	96	13.3%
交友関係	22	3.0%
余暇時間の増大とその使い道	80	11.1%
夫婦二人だけで過ごす時間	46	6.4%
健康の維持と管理	250	34.6%
家庭や地域での役割	20	2.8%
その他	5	0.7%
無回答	6	0.8%



問12と同様に健康面と経済面に関心が高い。

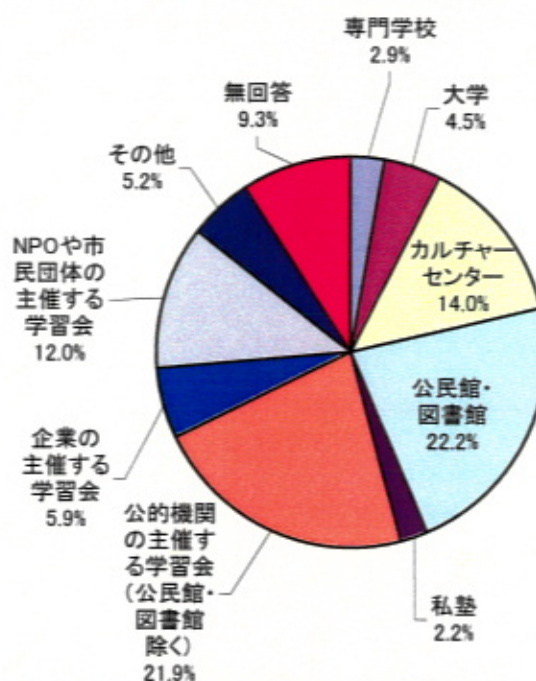


## 問14 関心事項を学ぶ場所

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

選択肢	回答数	割合
専門学校	17	2.9%
大学	27	4.5%
カルチャーセンター	83	14.0%
公民館・図書館	132	22.2%
私塾	13	2.2%
公的機関の主催する学習会 (公民館・図書館除く)	130	21.9%
企業の主催する学習会	35	5.9%
NPOや市民団体の主催する学習会	71	12.0%
その他	31	5.2%
無回答	55	9.3%

「公民館・図書館」や「公的機関の主催する学習会」で学びたいという回答が多い。

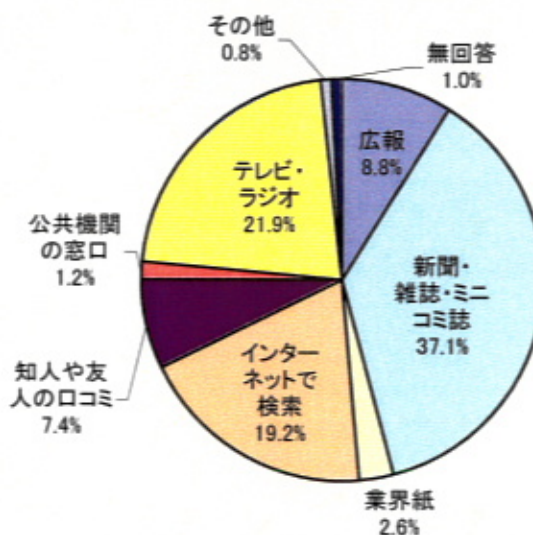


## 問15 情報源

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

選択肢	回答数	割合
広報	64	8.8%
新聞・雑誌・ミニコミ誌	271	37.1%
業界紙	19	2.6%
インターネットで検索	140	19.2%
知人や友人の口コミ	54	7.4%
公共機関の窓口	9	1.2%
テレビ・ラジオ	160	21.9%
その他	6	0.8%
無回答	7	1.0%

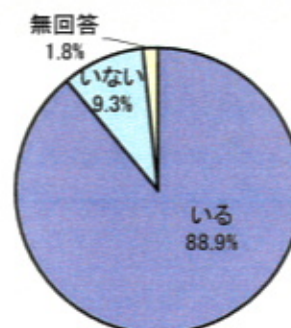
「新聞・雑誌・ミニコミ誌」や「テレビ・ラジオ」が60%である一方、「インターネットによる検索」が20%ほどである。



## 問16 同居配偶者の有無

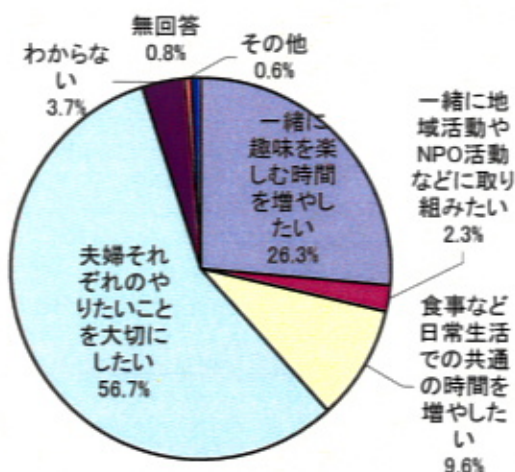
選択肢	回答数	割合
いる	353	88.9%
いない	37	9.3%
無回答	7	1.8%

夫婦ともに生活している家庭が約90%である。



## 問16-2 望む夫婦関係

選択肢	回答数	割合
一緒に趣味を楽しむ時間を増やしたい	93	26.1%
一緒に地域活動やNPO活動などに取り組みたい	8	2.2%
食事など日常生活での共通の時間を増やしたい	34	9.5%
夫婦それぞれのやりたいことを大切にしたい	200	56.0%
わからない	13	3.6%
その他	2	0.6%
無回答	3	0.8%

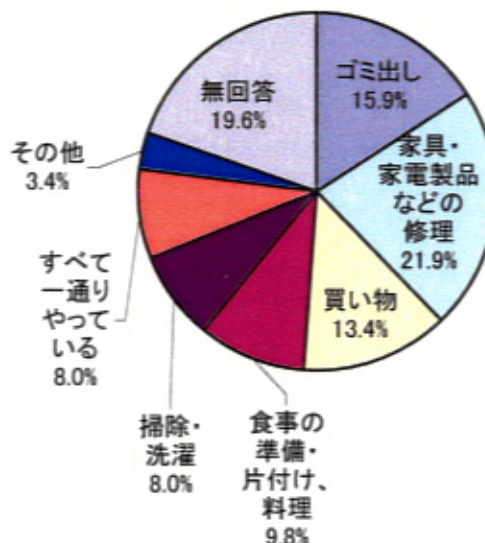


「夫婦それぞれのやりたいことを大切にしたい」という回答が50%を超えている。

## 問16-3 配偶者いる男性の家事

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

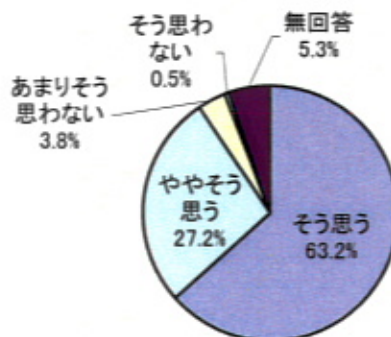
選択肢	回答数	割合
ゴミ出し	89	15.9%
家具・家電製品などの修理	123	21.9%
買い物	75	13.4%
食事の準備・片付け、料理	55	9.8%
掃除・洗濯	45	8.0%
すべて一通りやっている	45	8.0%
その他	19	3.4%
無回答	110	19.6%



「無回答」と「その他」の中には家事を何もしないという回答もあるが、全体的に何かの家事をやっている人が多い。

## 問17 家庭生活を重視

選択肢	回答数	割合
そう思う	251	63.2%
ややそう思う	108	27.2%
あまりそう思わない	15	3.8%
そう思わない	2	0.5%
無回答	21	5.3%



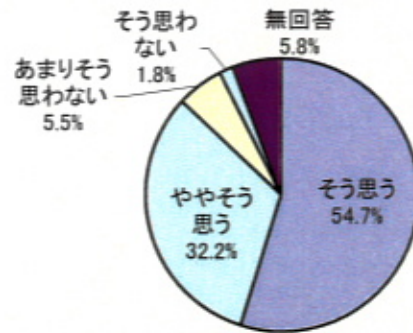
家庭生活を重視したい人が90%である。



## 問17-2 自分の興味を重視

選択肢	回答数	割合
そう思う	217	54.7%
ややそう思う	128	32.2%
あまりそう思わない	22	5.5%
そう思わない	7	1.8%
無回答	23	5.8%

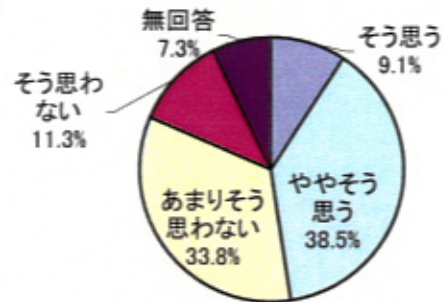
自分の興味を重視したい人が87%である。



## 問17-3 地域・NPO活動を重視

選択肢	回答数	割合
そう思う	36	9.1%
ややそう思う	153	38.5%
あまりそう思わない	134	33.8%
そう思わない	45	11.3%
無回答	29	7.3%

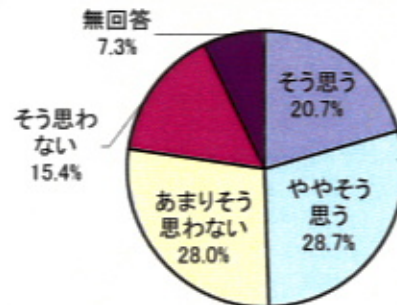
地域・NPO活動を重視する人としらない人が半々である。



## 問17-4 仕事を重視

選択肢	回答数	割合
そう思う	82	20.7%
ややそう思う	114	28.7%
あまりそう思わない	111	28.0%
そう思わない	61	15.4%
無回答	29	7.3%

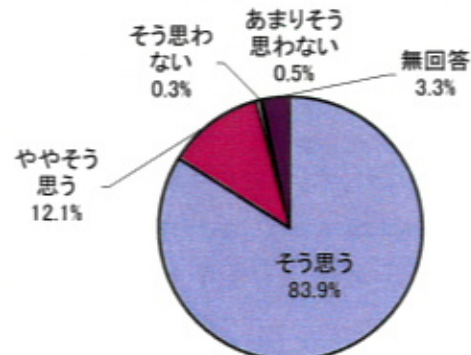
仕事を重視する人が若干多いが、ほぼ半々に分かれた。



## 問17-5 健康を重視

選択肢	回答数	割合
そう思う	333	83.9%
ややそう思う	48	12.1%
あまりそう思わない	2	0.5%
そう思わない	1	0.3%
無回答	13	3.3%

ほぼ全ての人が健康を重視している。

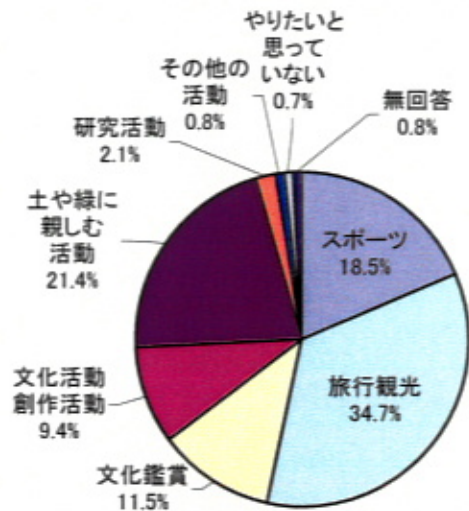


## 問18 趣味・ライフワーク活動

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

選択肢	回答数	割合
スポーツ	132	18.5%
旅行、観光	248	34.7%
文化鑑賞	82	11.5%
文化活動、創作活動	67	9.4%
土や緑に親しむ活動	153	21.4%
研究活動	15	2.1%
その他の活動	6	0.8%
やりたいと思っていない	5	0.7%
無回答	6	0.8%

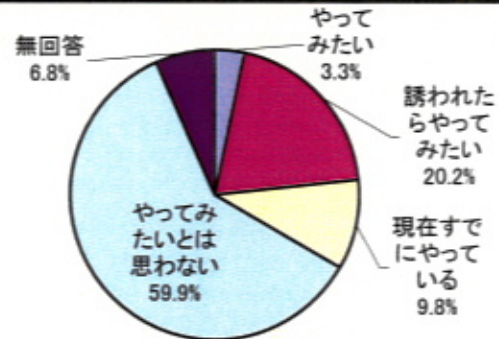
「旅行・観光」に次いで「土や緑に親しむ活動」「スポーツ」などが多く回答されている。



## 問19 自治会役員・民生委員・保護司等

選択肢	回答数	割合
やってみたい	13	3.3%
誘われたらやってみたい	80	20.2%
現在すでにやっている	39	9.8%
やってみたいとは思わない	238	59.9%
無回答	27	6.8%

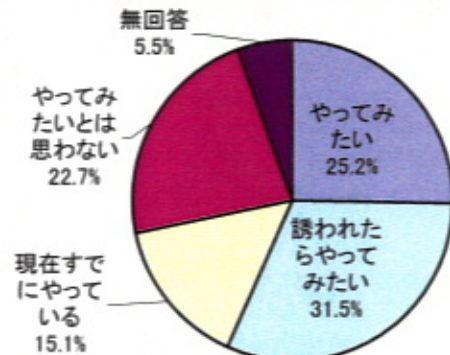
「やってみたいとは思わない」が60%にのぼる。



## 問19-2 サークル活動

選択肢	回答数	割合
やってみたい	100	25.2%
誘われたらやってみたい	125	31.5%
現在すでにやっている	60	15.1%
やってみたいとは思わない	90	22.7%
無回答	22	5.5%

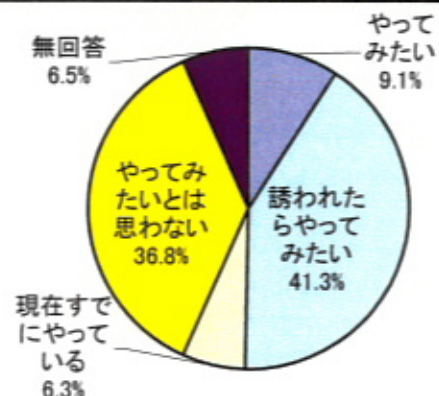
「現在すでにやっている」人を含め、サークル活動に意欲を持っている人は70%を超えている。



## 問19-3 ボランティア・NPO活動

選択肢	回答数	割合
やってみたい	36	9.1%
誘われたらやってみたい	164	41.3%
現在すでにやっている	25	6.3%
やってみたいとは思わない	146	36.8%
無回答	26	6.5%

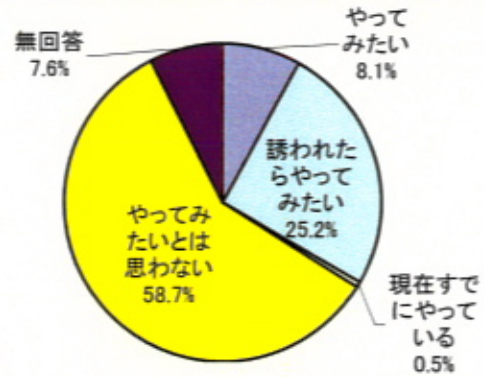
「やってみたい意欲を持っている人が50%程度いる一方で、やってみたいという意欲のない人が37%ほどいる。





## 問19-4 事業型NPO・コミュニティビジネス

選択肢	回答数	割合
やってみたい	32	8.1%
誘われたらやってみたい	100	25.2%
現在すでにやっている	2	0.5%
やってみたいとは思わない	233	58.7%
無回答	30	7.6%

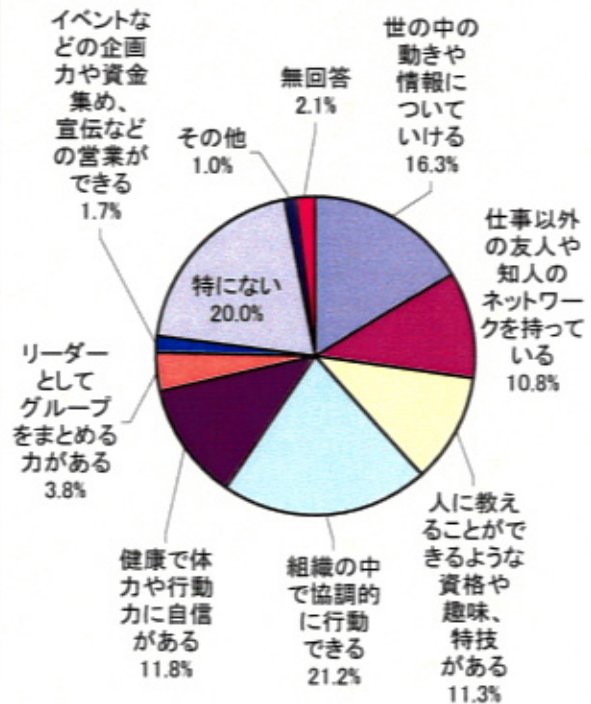


「やってみたいとは思わない」人が60%近くいるが、事業型NPO・コミュニティビジネスについてあまり認知されていないことも一つの要因と考えられる。

## 問20 自信があること

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

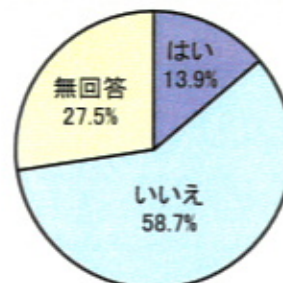
選択肢	回答数	割合
世の中の動きや情報についていける	94	16.3%
仕事以外の友人や知人のネットワークを持っている	62	10.8%
人に教えることができるような資格や趣味、特技がある	65	11.3%
組織の中で協調的に行動できる	122	21.2%
健康で体力や行動力に自信がある	68	11.8%
リーダーとしてグループをまとめる力がある	22	3.8%
イベントなどの企画力や資金集め、宣伝などの営業ができる	10	1.7%
特にない	115	20.0%
その他	6	1.0%
無回答	12	2.1%



「組織の中で強制的に行動できる」人がもっとも多い。

## 問21 ボランティアバンク登録

選択肢	回答数	割合
はい	55	13.9%
いいえ	233	58.7%
無回答	109	27.5%

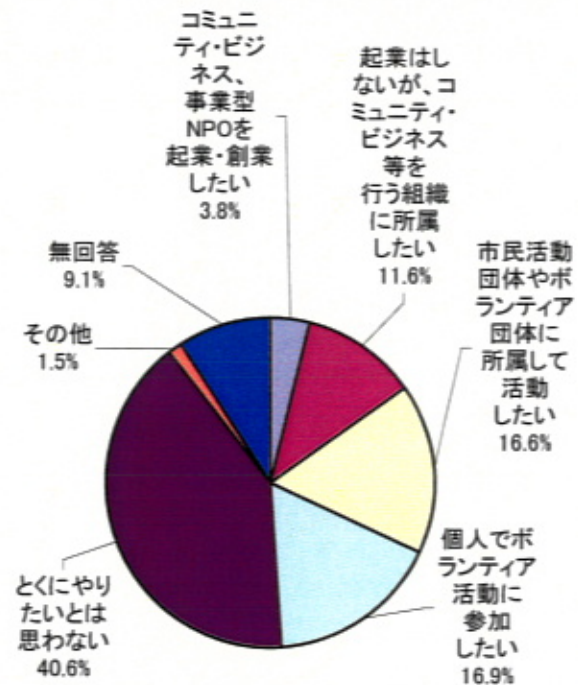


「いいえ」「無回答」を含めると87%の人がボランティアバンクへの登録に関心がないことがわかる。



## 問22 市民・ボランティア・NPO活動

選択肢	回答数	割合
コミュニティ・ビジネス、事業型NPOを起業・創業したい	15	3.8%
起業はしないが、コミュニティ・ビジネス等を行う組織に所属したい	46	11.6%
市民活動団体やボランティア団体に所属して活動したい	66	16.6%
個人でボランティア活動に参加したい	67	16.9%
とくにやりたいとは思わない	161	40.6%
その他	6	1.5%
無回答	36	9.1%

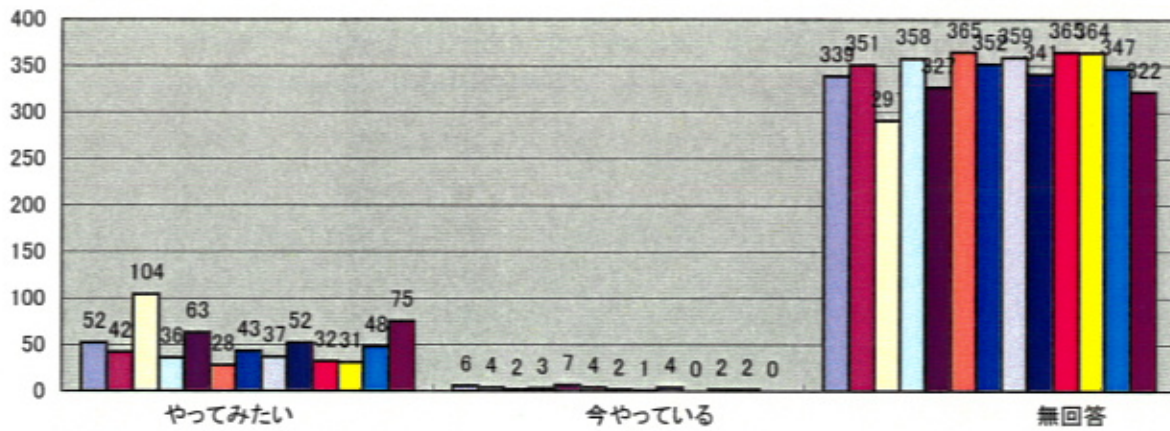


約半数が市民活動・ボランティア活動・NPO活動にあまり興味がないことがわかる。

## 問23 やってみたいと思う活動の種類

※グラフは次ページ

選択肢	やってみたい	今やっている	無回答
(1)高齢者の福祉や生活にかかわるサービス	52	6	339
(2)障害者の福祉や生活にかかわるサービス	42	4	351
(3)日常生活の軽度な支援(便利屋的な仕事)	104	2	291
(4)育児や子育て中の親への支援	36	3	358
(5)児童・生徒や学校への支援	63	7	327
(6)文化、芸術などにかかわる活動	28	4	365
(7)技術を生かした作業や指導	43	2	352
(8)リサイクルや環境に関する活動	37	1	359
(9)食に関する活動	52	4	341
(10)パソコンなどのIT関連	32	0	365
(11)地域のまちづくりにかかわる活動	31	2	364
(12)分野にかかわりなく、組織や団体の事務局支援	48	2	347
(13)特にやりたいと思わない	75	0	322

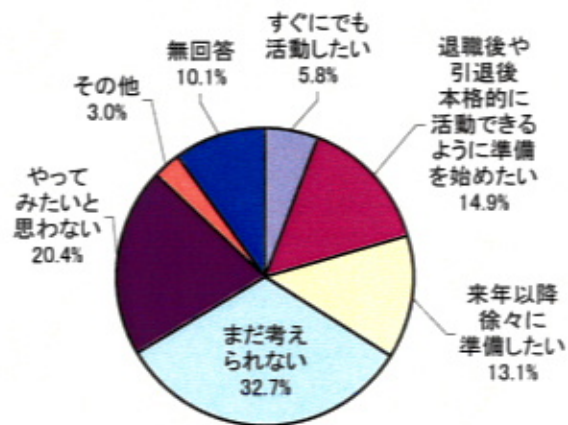


- (1) 高齢者の福祉や生活にかかわるサービス
- (3) 日常生活の軽度な支援(便利屋的な仕事)
- (5) 児童・生徒や学校への支援
- (7) 技術を生かした作業や指導
- (9) 食に関する活動
- (11) 地域のまちづくりにかかわる活動
- (13) 特にやりたいと思わない
- (2) 障害者の福祉や生活にかかわるサービス
- (4) 育児や子育て中の親への支援
- (6) 文化、芸術などにかかわる活動
- (8) リサイクルや環境に関する活動
- (10) パソコンなどのIT関連
- (12) 分野にかかわりなく、組織や団体の事務局支援

日常生活の軽度な支援をやってみたいという回答がもっとも多く、以下すべての項目でやってみたいという回答があったが「特にやりたいと思わない」や「無回答」がかなり多く、このような活動への興味・関心の薄さが垣間見える。

問24 活動開始時期

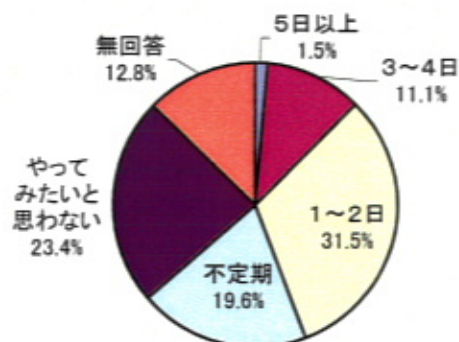
選択肢	回答数	割合
すぐにも活動したい	23	5.8%
退職後や引退後、本格的に活動できるように準備を始めたい	59	14.9%
来年以降、徐々に準備したい	52	13.1%
まだ考えられない	130	32.7%
やってみたいと思わない	81	20.4%
その他	12	3.0%
無回答	40	10.1%



仕事が現役ということで「まだ考えられない」という回答が多かった。

問25 活動参加頻度(週)

選択肢	回答数	割合
5日以上	6	1.5%
3~4日	44	11.1%
1~2日	125	31.5%
不定期	78	19.6%
やってみたいと思わない	93	23.4%
無回答	51	12.8%



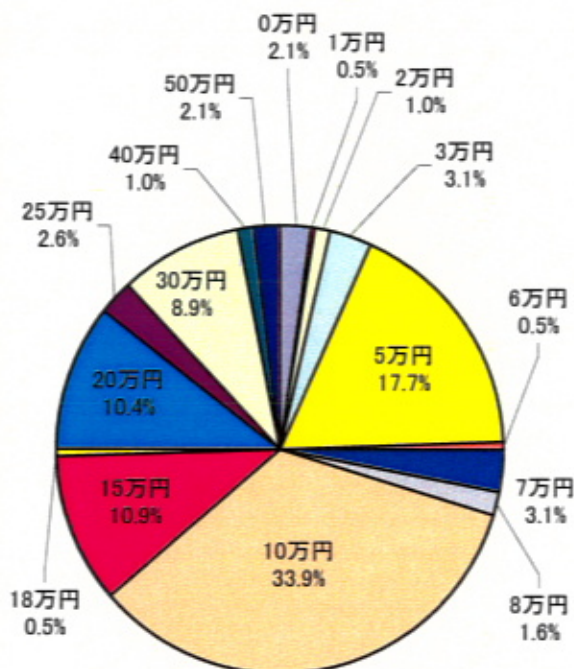
やりたいという中で「1~2日」「不定期」が多いことからある程度自由な時間の中で活動したいという思惑が伺える。



## 問26 一ヶ月あたりの収入

(コミュニティビジネスによる収入)

金額	回答数	割合
0万円	4	2.1%
1万円	1	0.5%
2万円	2	1.0%
3万円	6	3.1%
5万円	34	17.7%
6万円	1	0.5%
7万円	6	3.1%
8万円	3	1.6%
10万円	65	33.9%
15万円	21	10.9%
18万円	1	0.5%
20万円	20	10.4%
25万円	5	2.6%
30万円	17	8.9%
40万円	2	1.0%
50万円	4	2.1%

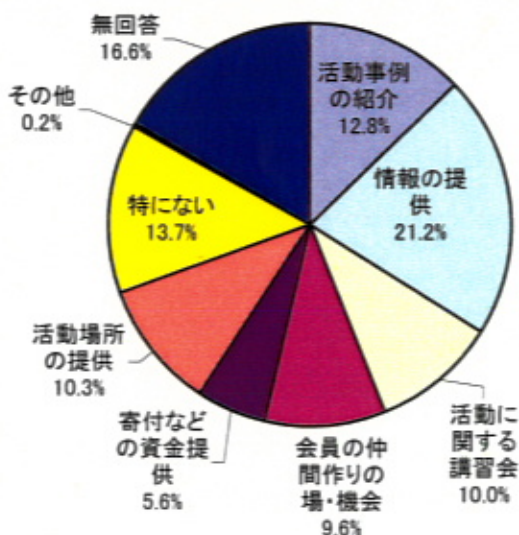


一月10万円の収入を希望している人がもっとも多い。

## 問27 行政や民間に望む支援

※複数回答があるので回答数397を超える回答数がある

選択肢	回答数	割合
活動事例の紹介	73	12.8%
情報の提供	121	21.2%
活動に関する講習会	57	10.0%
会員の仲間作りの場・機会	55	9.6%
寄付などの資金提供	32	5.6%
活動場所の提供	59	10.3%
特にない	78	13.7%
その他	1	0.2%
無回答	95	16.6%



「情報の提供」を望む回答が多い一方で「特にない」「無回答」などあまり関心がない様子が見える。